

「今のままだと近畿は未曾有の被害に……」

近畿の未来

“西日本大震災”への備えを考えるのは、今しかない!

今年の3月11日、世界的にも類を見ないほどの大地震と大津波が東日本を襲いました。今回、近畿は大きな被害を受けませんでした。近畿は今、東日本大震災をはるかに上回る被害をもたらす巨大地震の危機に直面しているのです。

そこで今回の対談のゲストには、「巨大地震に負けない強靱な日本をつくるべき」という提言で注目を集める京都大学大学院工学研究科教授・藤井聡氏と、生活や暮らし、環境に関するシンポジウムのコーディネーターなどでも活躍されているタレント・岡部まり氏をお迎えし、専門家と市民という視点から、ハード・ソフト両面の防災対策について語り合っていました。

東日本大震災による大津波から人や住宅を守った普代水門 (詳細はP4参照)
写真提供:岩手県・普代村



タレント・エッセイスト

岡部 まり 氏 (おかべ まり)

1960年長崎県生まれ。福岡女学院短期大学英語科卒業。在学中はモデル、ラジオのパーソナリティとして活躍。卒業後は上京し、テレビ、ラジオ、インタビュー、司会、コーディネーターの他、女優業、執筆業など活動の場を広げる。エッセイ「Media de MARI-岡部まりの世界」などを出版。朝日放送「探偵!ナイトスクープ」では秘書役として2010年まで21年間務める。

京都大学大学院工学研究科教授

藤井 聡 氏 (ふじい さとし)

1968年奈良県生まれ。京都大学土木工学科卒、同大学院土木工学専攻修了後、同大学助手、助教授、東京工業大学助教授、教授を経て、2009年より京都大学大学院工学研究科(都市社会工学専攻)教授。専門は土木計画学、交通工学、公共政策のための心理学。1998年スウェーデンイェテボリ大学客員研究員。著書は「公共事業が日本を救う」「列島強靱化論-日本復活5カ年計画」等多数。

都心でも“災害ユートピア現象”が。近所の絆は、人の命と心を救う

岡部 ●先生の著書「列島強靱化論-日本復活5カ年計画」^{※1}を読ませていただきました。3月11日に東京のマンション6階で強い揺れを体験した後でしたので、よりリアルに伝わってきました。

藤井 ●あの本は、3月23日の参議院予算委員会の公聴会で、専門家として意見を述べるために作った提案を骨子として書きました。3月11日は帰宅後、すさまじい津波の映像をただ呆然と見続けるしかありませんでした。そうしながら自分に何ができるのか。国土や都市、地域についての政策論を論ずる専門家として、日本が立ち上がる術を考える責務があるのに違いないと思いました。さらに、今回の大震災に続き、首都直下型地震や東海・東南海・南海地震もいつ起こるかわからない。それならば公聴会へは東日本大震災の復旧・復興プランと共に、度重なる巨大地震に立ち向かうための方針を提案しようと考え、10日間、全力を投入して「日本復興計画」^{※2}としてまとめました。ところであの日、東京では震度5強だったそうですね。

岡部 ●震源かと思うほど揺れて、とても怖い思いをしました。その後も大変で、電池などいろいろな物が売り切れたり、風評が飛び交ったりと、なかなか落ち着いた生活に戻れませんでした。その一方で、ご近所があたたかな雰囲気と包まれるという経験もしました。お子さんがいる方に「大丈

夫ですか?」と声を掛け合ったり、炊き出しをしてくださる方がいたり、道沿いのお宅は「トイレ貸します」の張り紙をしたり。ご近所の絆を感じました。

藤井 ●そういう現象を災害社会学では“災害ユートピア”といいます。地震などの災害が起こった直後、地域社会が興奮状態になると、その地域は一時的にあたたかなユートピアみたいな社会になるという現象が起こるんです。時間が経つと、また、ユートピアではなくなっていきますが、一瞬、ユートピアになる。東京でもそういう現象が起こっていたというのは初めて聞きました。

岡部 ●近所の人と人とのつながりがどれほど心強いかわかりました。

藤井 ●防災の研究の中には、災害ユートピアや人の絆についてなどソフトな面もあります。最近の説の中には「祭りは防災対策の機能をもっている」というものも。祭りではみんなが協力し合っていて何かをしますね。普段は会話しなくても、祭りは全員参加ですから、誰がどこに住んでいるのかわかります。

岡部 ●お祭りが盛り上がる地域は絆が深いということですね。

藤井 ●絆が希薄で隣近所で顔もわからないと、助けられるはずの人を助けられないこともあります。ご近所の絆というのは本当に大切なんです。

※1 『列島強靱化論-日本復活5カ年計画』(文春新書) 震災後の1ヵ月で書き上げた藤井氏の渾身の一作。東日本の「ふるさと再生」のために何をすべきか。地震や津波に負けない強靱な国土をいかにつくり上げるか。復興、防災、財源、デフレ不況を一挙解決。永田町・霞ヶ関で反響を呼ぶ。



※2 日本復興計画 『緊急提案:日本復興計画~「東日本復活5カ年計画」と「列島強靱化10年計画」』のこと。京都大学藤井聡研究室HPにて全文が掲示されている。

